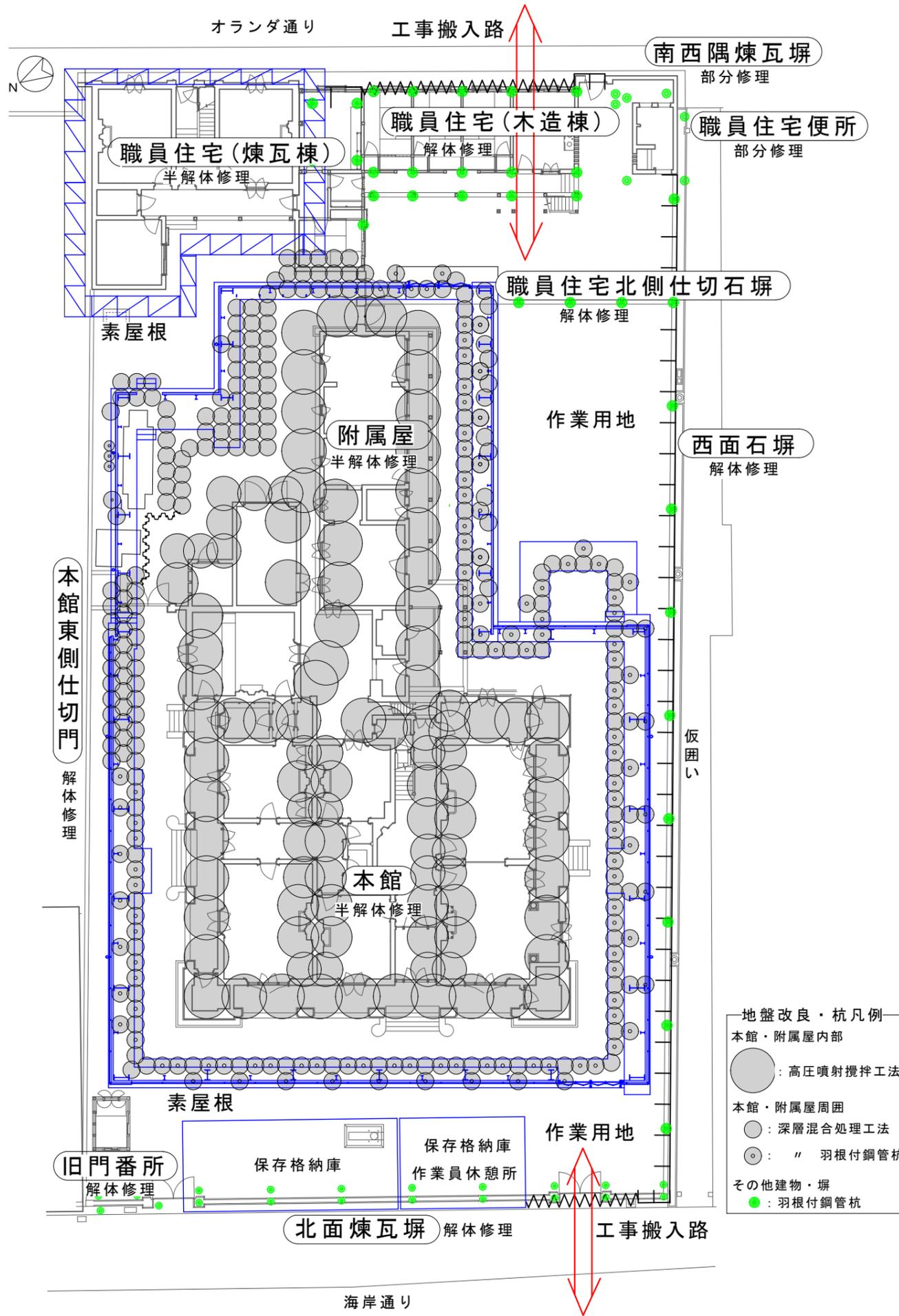


重要文化財 旧長崎英国領事館本館ほか9棟保存修理事業



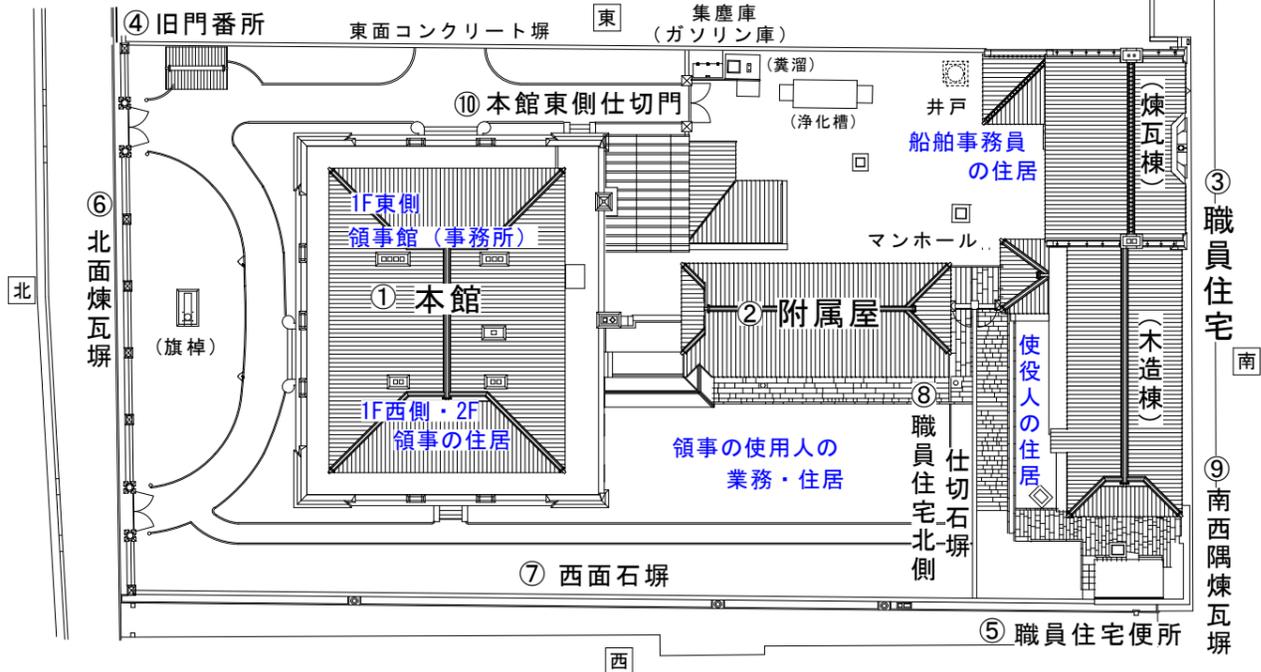
工事概要図

建物の沿革

建築年代：明治39年(1906)8月建設開始 明治41年(1908)9月完成
 設計者：英国上海公務局技師長 ウィリアム・コーワン、シンプソン
 施工者：請負工事 後藤友三郎(前半)→森高市太夫(後半)
 昭和16年 領事館閉鎖 昭和30年～長崎市取得 児童科学館や美術館として使用
 平成2年 国指定重要文化財に指定

建物の特徴

- 敷地内に主要な建物を始め、附属する建物や工作物にいたるまで、当時の状態に残る
 - 領事館(事務)・領事官邸(住まい)を一つ建物の中に配置
 - 敷地内を建物・塀・門で明確に区切り、従事する人の空間を区分
- 建設当時の設計図や仕様書のほか、関連する外交文書も残り、近代日本外交史の一端を知ることができる



着手前調査

2004(平成16)年度：本館ほか構造耐力度検討等調査(破損調査)
 2011～12(平成23～24)年度：調査工事(地盤調査・構造調査・耐震診断・補強方針策定・破損調査)
 →破損が著しいことが判明(不同沈下・石材や鉄材の劣化・煉瓦や目地の風化・木材の蟻害)
 耐震補強の必要性を確認

修理方針

煉瓦造建物：半解体 木造建物・石造の塀：全解体 本館・附属屋：沈下是正
 ① すべての建物の耐震補強(地盤改良や鋼管杭による地業工事 本館・附属屋は免震化)
 ② 工事作業用地・搬入路確保のため、煉瓦造の一部の躯体を一時移設
 ③ 英国工務局による一連の工事が完了したと考えられる大正時代初期の姿に復旧または整備

事業組織

発注者：長崎市
 設計監理：長崎市建築部建築課・設備課/(公財)文化財建造物保存技術協会
 施工：松井・大進・長崎土建 特定建設工事共同企業体(現工事)
 修理委員会：構造部会 活用部会

事業期間

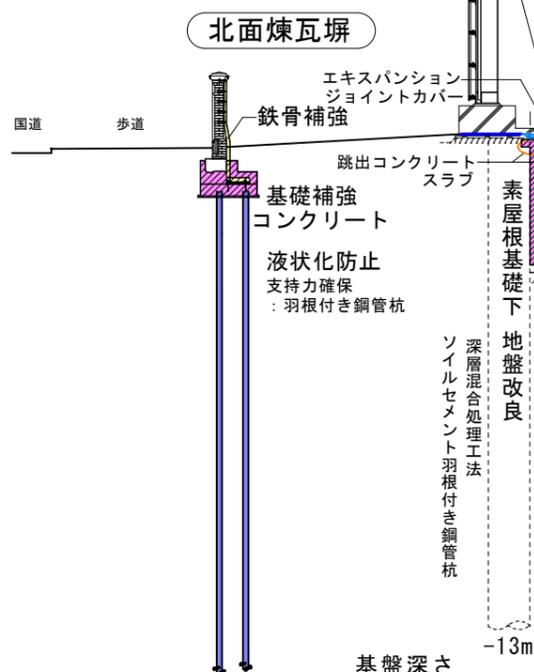
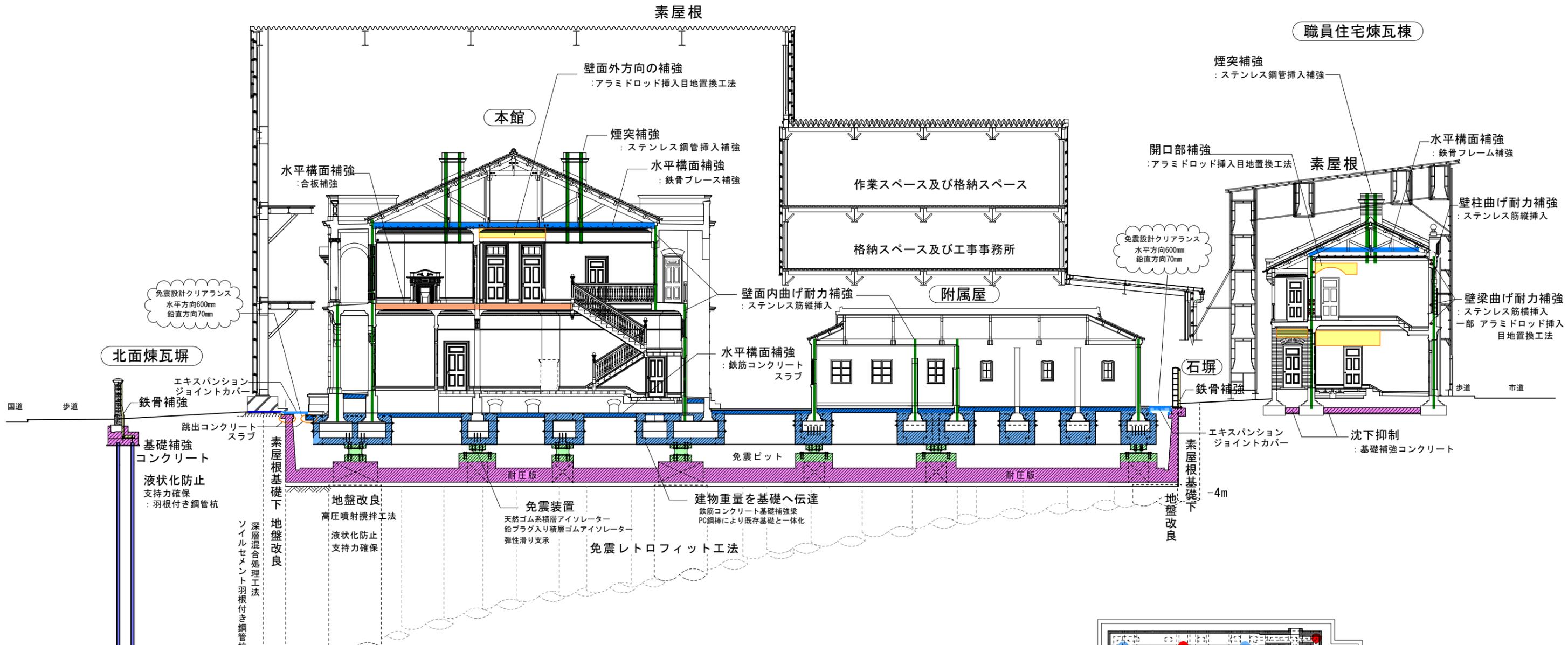
2014(平成26)年4月1日～2025(令和7)年9月30日(138ヵ月 11年6ヵ月)

工事発注区分

- 準備工事：解体・敷地内整理 (3ヵ月) (2015.1.15～2015.3.31)
- 第1期工事：地盤改良・素屋根建設・解体・揚屋 (3年3ヵ月) (2015.9.24～2018.12.28)
- つなぎ工事：解体・素屋根監理 (3ヵ月) (2018.12.19～2019.3.20)
- 第2期工事：耐震補強・組立 (6年3ヵ月) (2019.3.15～2025.6.30予定) 現在4年7ヵ月経過 残り1年8ヵ月

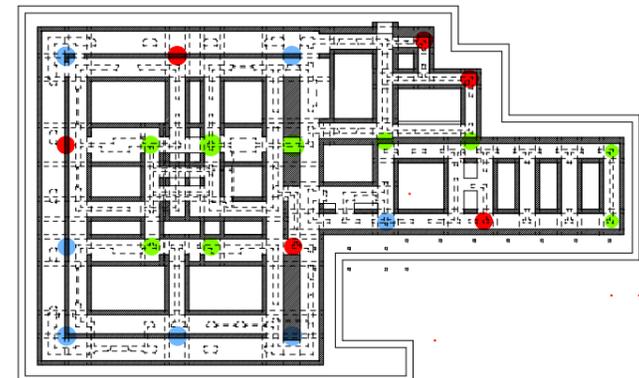
その他工事

- 防災工事
- 活用工事
- 展示工事



<p>天然ゴム系積層ゴム アイソレーター</p>	<p>鉛プラグ挿入型積層ゴム アイソレーター</p>	<p>弾性すべり支承</p>
<p>6箇所</p>	<p>7箇所</p>	<p>9箇所</p>

免震装置



免震装置配置図

耐震補強概要図